

平成 30 年度採択団体

平成 30 年度 Let's びぎんプロジェクト採択団体は以下の通りです。

遊休地活用プロジェクト – 畑ラボ –

プロジェクト概要

耕作放棄地の活用や農作物の生産・販売を行うことで学問と産業の相互交流の拠点とし、農業人材の輩出につなげていく。

ひとこと

「畑ラボ」とは、「遊休地」を拠点として、学生の新たな「農業」へのかかわり方を模索するとともに、その活動を通して地域の農家さんや学生、農業法人などの交流を活発にすることによって地域課題に協力して取り組むことのできる環境づくりを目標にしています。

学生が農業現場の理解を深めることができる場を作りたい！

地域課題に対して学生が何か取り組むことができないか？

という思いのもと、この「畑ラボ」を企画しました。また、今後の展望として

- ・33 市町村にラボを広げる
- ・「農業バイト」の創出

などを後輩達にも引き継ぎ継続させることで達成していきたいと思います。

今後多くの人を巻き込みながら「畑ラボ」の活動を活発化させていきたいと思いますので、興味ある方がいましたらお気軽にご連絡ください！



– 岩手で活躍する盲導犬はどこから来るの？ – 知ってほしい、目の不自由な方のこと、盲導犬のこと –

プロジェクト概要

盲導犬実働数が少ない岩手県で、社会で起こっている目の不自由な方や盲導犬が直面する問題を知ってもらえるように活動する。

街中で盲導犬を見かけたことはありますか？岩手では現在 10 頭、全国では 941 頭の盲導犬が目の不自由な方の大切なパートナーとして活躍しています。(H30.7.1 現在)

盲導犬を使用していない多くの目の不自由な方々や盲導犬ユーザーの方、盲導犬が安心して外出するためには、私たちの理解や配慮、声かけが必要です。

特にこれから社会に出ていく本学の学生や地域の子どもたち、そして地域の方々に目の不自由な方や盲導犬について知っていただき、安心して外出できる街になってほしいと考えています。そして学生や子どもたちが社会に出たとき、目の不自由な方や盲導犬に対する正しい知識を持って対応できる良き理解者になってほしいと思います。

